

## 研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 秋山博子

令和 1 年 8 月 17 日から令和 1 年 8 月 18 日まで下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	全国地方議員交流研修会「地方の農林漁業の再生」：熊本
研修の目的	建設経済常任委員会委員として農業の課題に全国ではどのように取り組んでいるのか学ぶ（主催／全国地方議員交流研修会実行委員会 全大会・分科会）
所 感	<p>実行委員会の挨拶で会場の熊本市総合体育館は3年前の熊本地震の際に避難所になった場所だと知る。そこに全国から地方議員が集って、地方の農林漁業、震災復興、水俣を学んだ。全大会では沖縄県知事玉城デニー氏が登壇し、今沖縄が全国に呼びかけたいことを基調講演していただく。また、分科会では5つの分科会のうち第1分科会「農業」に参加し、各地の農業事情を聞く。兵庫県宍粟市（しろうし）議員からは、この5年で1割の農地が不耕作になり、20年後には日本の農地は半分以下になるのではないかと、それは国家存亡の危機ではないかと問題提起があった。現在の農政では「成長産業・儲かる農業・6次産業化・輸出・・・」が前面に出てくるけれど、農地は競争に勝ったところだけが生き残ればよいのではないと訴えがあり、生産費保障の提言が呼びかけられた。「農家の所得保障」というと抵抗があるだろうが「生産費を保障する」という言い方であれば、とも語る。試算では、農業林業合わせて5～6兆円、これが地方経済を回す原資になり、それによって地方は活性化し、商工業も元気になるという。そのほか、野菜王国と言われる熊本県の議員からは、低い食料自給率への懸念、除草剤グリホサートの残留値問題、遺伝子組み換え農産物・ゲノム編集食品の拡大を危惧し、国に農政の大転換を求めたいと報告された。</p>
今後の参考となる事項	<p>（1） 食の安全保障という観点で見ると農業の未来はとてもきびしい。後継者問題は生活できないからだという指摘はもつともであり、例えば中山間地の水田に反あたり10万円を始め、平地の水田に3万円、畑作や畜産への補助金約1兆円として、3～3.5兆円という。市としても生産費保障の制度を国に求めていくことができないか。</p> <p>（2） 農地が多面的な機能を持っていること、つまり公共的な価値を持っているという認識を市民に広げる必要がある。</p> <p>（3） 多面的な機能への認識を感じる。遺伝子組み換え、ゲノム編集、除草剤問題をふまえて、有機栽培の推進にどこまで本腰で取り組むのか市の政策を質したい。</p>

\* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

\* 参考資料等がある場合は、添付してください。

## 研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 秋山博子

令和 1 年 8 月 19 日 下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	全国地方議員交流研修会「地方の農林漁業の再生」現地視察：熊本（水俣）
研修の目的	水俣病の現地を訪ね、公害被害からの再生と課題を学ぶ（主催／全国地方議員交流研修会実行員会 視察ルート／水俣病慰霊碑・水俣病歴史考証館・語り部緒方正実氏・水俣エコタウン）
所 感	<p>1954 年ビキニ事件に巻き込まれた焼津の歴史を考えると、水俣病に見舞われた水俣市の再生と課題を知ることは大いに参考になると考え、現地視察した。焼津市にとって平和教育といえばビキニ事件が取り上げられるが、記憶の風化を懸念する声もあり、水俣市で被害に遭われた住民と原因となった企業チツソとの関係、地域での分断や差別の様相、その中での人々の暮らしや、今どのように伝える活動がされているのか、現地を歩き、そこで生の声を聞き、平和教育や資料館のあり方を学ぶべきと考えた。語り部の会で代表を務める緒方正実さんは、淡々とお話しされていたが、ご一族の多くが水俣病に罹患し苦しみの中で亡くなるという、むごさであった。差別も嫌というほど体験してきた。問題の排水溝も見したが、ここからチツソが流す有機水銀が原因と分かっても排水は止むことなく続けられたという現実にも愕然とした。歴史から何を学び、何を伝えるべきなのか考えさせられた。汚染された水俣の海は今は埋め立てられ、ボードが張られて散策ができる。2004 年にはこの場所で石牟礼道子さん原作の能「不知火（しらぬい）」が奉納上演されたという。ここに文化が生まれた。水俣病は間違いなく悲劇であるが、同時にいろんな顔を持って私たちに迫ってくる。</p>
今後の参考となる事項	<p>（1）水俣病にいろんな側面があるようにビキニ事件も重層的である。平和教育を進める中でも、核実験や核兵器のない世界へのアピールはもちろんであるが、いのち、経済、差別の構造、文化（アート、音楽、演劇、詩作）など、アプローチの仕方は多様である。また、大きな打撃を被った焼津の水産界がその後不死鳥のようによみがえって全国一の港として名を馳せたことは、市民に勇気と誇りを与えてくれる、かけがえのない歴史である。伝えるべきことは豊富にあり、ビキニ事件を風化させることなくプログラムを展開することができるのではないかと可能性を感じた。</p> <p>（2）ビキニ事件の資料は現在歴史民族資料館の一角にコーナー展示されているが、映像、グッズ、音声、など、展示の工夫を提案したい。</p>

\* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

\* 参考資料等がある場合は、添付してください。